

平成 29 年度第 1 回永田浜ウミガメ保全協議会議事概要

日時・場所

平成 29 年 11 月 16 日 19:00～20:50・永田公民館

議事概要

2.) 議事

1) 永田浜のウミガメに関する事業報告

各機関から今年度事業の報告がなされた。

【主な質疑等】

■ウミガメ保護柵について

・浜のせまさやウミガメの上陸頭数の少なさ、管理の簡略化から、ハッピー下の保護柵について来年度は外してもよいのでは。(永田ウミガメ連絡協議会)

→少ないがあがるので保護は必要。(環境省)

→管理が大変という問題は、ロープ無し杭だけの設置にすることで解消できるのでは。(屋久島町)

・来年度から NPO 法人屋久島うみがめ館による卵の移植が行えなくなるとすると、これまで設置除外範囲としていた箇所についても何らかの保全対策が必要ではないか。(環境省)

→杭だけの設置を試験的に行うのであれば、観光客の入りが少ないキャンプ場側のほうがよいのでは。(屋久島町)

→NPO 法人屋久島うみがめ館の代わりを補えるかどうかということも保護柵と関わってくる。今回だけでは結論がでないと考える。(永田ウミガメ連絡協議会)

■勉強会について

・永田ウミガメ連絡協議会の会員でなくても参加できる機会がほしいという意見が集落からあった。(永田ウミガメ連絡協議会)

→事務局で検討する。(環境省)

■観察会の実施報告について

・NPO 法人屋久島うみがめ館と研修の機会を設けたのはいいことだと思うが、来年度は NPO の協力が得られない場合どうするのか。(環境省)

→続けていきたいと考えている。まずは永田ウミガメ連絡協議会独自に実施する予定。(永田ウミガメ連絡協議会)

2) 永田浜を含めた屋久島全島についての報告

屋久島町から島内における上陸産卵状況やウミガメ保護条例の許認可状況について報告があった。

・中間浜の結果について、産卵回数の方が上陸回数より多いが、どういうことか。(環

境省)

→資料のミス。正しくは上陸回数 45 回、産卵回数 12 回である。(屋久島町)

- ・栗生小学校の許可は子供たちの環境教育を目的としたものか。(永田ウミガメ連絡協議会)

→そのとおり。(屋久島町)

3) 検討事項

事務局から、今年度の協議会のスケジュールや各回の検討事項について説明があった。年度内 3 回の開催や検討事項について了承された。日程については NPO 法人屋久島うみがめ館の総会以降に一度保全協議会を開く必要性が確認され、第 3 回保全協議会の開催時期が 2 月中旬以降となった。

また、永田ウミガメ連絡協議会から来年度の観察会について方針の報告があった。

■平成 30 年度の観察会について

- ・観察会の時期を 7 月 20 日までとするのはなぜか。(環境省)
- 7 月下旬からウミガメの上陸状況が悪くなり、必ずしも産卵をみられるわけではなくなる。せっかくきてくれる観光客に対して悪い気がしたため。観察会を実施していない期間については、町の保護監視業務によって立ち入りをコントロールする予定。(永田ウミガメ連絡協議会)
- 観察会は浜への無秩序な立ち入りを防ぐ保護活動の面も持つはず。観察会参加者のことを考えるのは大切だが、優先してはいけないのでは。仮に保護監視業務を実施したとしても、夏休みシーズンの観光客が大量にくる。観光客すべてが、「浜に立ち入らないでほしい」というこちらのお願いを聞いてくれるとは考えにくい。観光客の受け皿は必要になる(環境省)
- ・8 月シーズンに子ガメの放流会をするためにはウミガメ保護条例と自然公園法の許認可がハードルとなる。(永田ウミガメ連絡協議会)
- 許認可については検討をするが、許可を得ない方法で観察会を実施することも検討したほうがよい。(環境省・屋久島町)
- ・平成 28 年度の会議で実施するとなった意見箱について、来年度はどのように考えているか。(環境省)
- WEB 予約受付サイトで意見の聴取も行っているところ。平成 28 年度はクレーム等多くいただいたが、平成 29 年度はいただいている。別の聴取方法について連絡協議会内部で検討したい。(永田ウミガメ連絡協議会)
- ・平成 30 年度観察会について、次の保全協議会までに詳細を詰めていただきたい。NPO 法人屋久島うみがめ館の総会の決定を待たなければいけない部分もあるが、準備できるところはしてほしい。(環境省)